

令和二年度 学習院大学史料館秋季特別展



# 皇室の美

ふで  
が織りなす

昭和天皇直筆御製草稿、初公開

動画配信期間

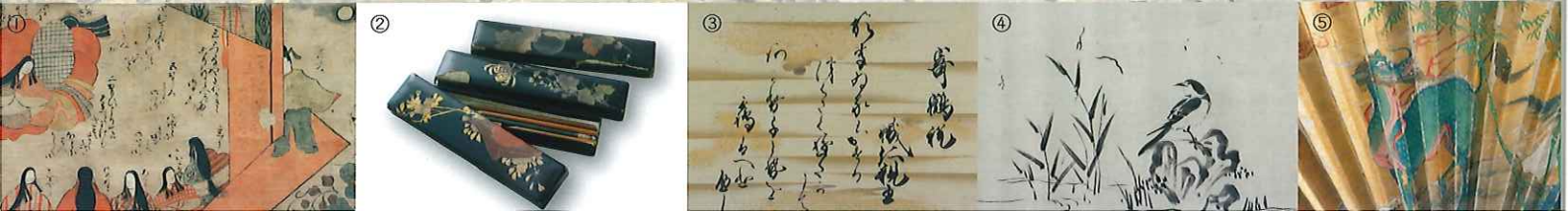
令和2年10月15日(木) ▼ 12月5日(土)

学習院大学では、感染症拡大防止策として入構を制限しているため、当展覧会は動画配信による公開といたします。左記のホームページをご覧ください。  
学習院大学史料館ホームページ： <https://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/>



主催 学習院大学史料館  
共催 一般社団法人霞会館  
協力 学習院大学文学部史学科

題字「筆」は「有栖川宮威仁親王筆一行書」〔個人蔵〕より  
①「こもちひり物語絵巻」〔水野家より寄託〕②「高松宮宣仁親王所用 鉛筆箱」〔当館蔵〕  
③「有栖川宮威仁親王筆 和歌懐紙」〔個人蔵〕④「靈元天皇御宸筆 蘆に鶉鴒」〔香川家より学習院大学文学部史学科寄託〕  
⑤「仙洞御所由来 麒麟住吉園末廣」表部分〔勸修寺より寄託〕⑥「唐桑机」部分〔勸修寺より寄託〕⑦網筆〔個人蔵〕





令和二年度 学習院大学史料館秋季特別展

昭和天皇直筆御製草稿、初公開

皇室の美

加織りなす



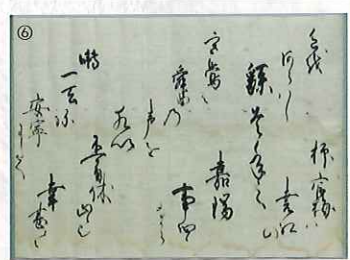
筆は紀元前の中国で発祥し、仏教と共に日本へ伝来したと言われます。以後今日に至るまで筆は生活の中にあり、常に身近な存在でした。その役割は文字を書くこと、画を描くことにとどまらず、化粧などにも使われています。筆の種類もいわゆる筆の他に、「筆」という文字で表される万年筆や鉛筆も、広い意味では筆の種類に含まれると考えられます。

常に生活の中にあつた筆。皇族の方々も筆を使って、様々なものを表現されました。特に天皇ご自身が認められた書は御宸翰・御宸筆と呼ばれ、美術品としても貴ばれました。

本展覧会では、桂宮家旧蔵の伏見天皇御集「広沢切」、後水尾天皇御宸筆の書状、靈元天皇御宸筆の和歌懐紙など、新発見の史料を初めて公開いたします。

また、令和元年度歴史関係ニュースのベストテンに数えられた「昭和天皇直筆御製草稿」についても、この度初公開いたします。

時代も内容も幅広い皇室関係の「筆の美」を是非ご覧ください。



①「伏見天皇御集断簡(広沢切)」②「昭和天皇直筆御製草稿」  
 ③「有栖川宮熾仁親王100年祭ボンボニエール」④「仙洞御所由来 麒麟住吉園末廣」東  
 ⑤「高松宮宣仁親王筆 写生画」⑥「後水尾天皇御宸翰 書状」  
 ⑦「有栖川宮熾仁親王筆 一行書」⑧(背景)「靈元天皇御宸翰 和歌懐紙」  
 ①⑥⑧香川家より学習院大学文学部史学科寄託 ④随修寺より寄託  
 ③⑦個人蔵 ②⑤当館蔵

令和2年度秋季特別展「筆が織りなす皇室の美」関連講座

第91回学習院大学史料館講座

「宸翰の鑑賞—時代とその風格を味わう—」

講師：島谷弘幸氏 (九州国立博物館長)

※本講座は11月21日(土)~12月5日(土)の間、ホームページにて動画を配信いたします。

学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL 03-5992-1173  
<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>

学習院大学史料館 公式 Twitter QR コード  
 Twitter URL : [https://twitter.com/g\\_shiryokan](https://twitter.com/g_shiryokan)

